

令和6年度第1回袖ヶ浦市文化財審議会

1 開催日 令和6年5月16日(木) 13:30~15:00

2 開催場所 袖ヶ浦市郷土博物館研修室

3 出席委員

会長	山田 常雄	委員	笹生 衛
副会長	成田 篤彦	委員	實形 裕介
委員	高橋 克	委員	野尻 孝明

(欠席委員)

委員	濱名 徳順		
----	-------	--	--

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	副主査	石井 祐樹
生涯学習課長	重田 克己	学芸員	鎌田 望里
班 長	田中 大介	学芸員	助川 諒
主 査	前田 雅之		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議題

- (1) 令和6年度文化財保護事業について
- (2) 指定文化財候補について(永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料)
- (3) 指定文化財候補について(光福寺の仏像について)
- (4) 市指定文化財かしま人形の現状について
- (5) その他

7 報告

- (1) 飽富神社年中行事の実施について（御田植神事）
- (2) その他

8 議事等

議題（1）令和6年度文化財保護事業について

事務局：資料に沿って説明
質疑なし

議題（2）指定文化財候補について（永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料）

事務局：資料に沿って説明

山田会長：資料のナンバーは何を示しているのか。

事務局：今回抽出した資料の通し番号である。

（資料実見）

笹生委員：指定名称がこれでよいのかが気になった。宗教関係資料以外の文房具や帯金具が入っている。名称は資料の性格を示す。墨書土器及び関連遺物の方がよいか。

事務局：文字資料というよりは文字関連資料として、文房具や帯金具を抽出している。

笹生委員：千葉県指定文化財である吉原山王遺跡の資料は文字資料のみを指定している。今回はいろいろな資料が混ざっている。名称の付け方が難しいが、文字資料に焦点を当てた方がよい。文字資料及び関連資料がよいか。宗教には絞り切れないのではないかと。

事務局：前々回の会議で遺跡の学史的な意義も含めた方がよいということで、前回の会議でまとめた。集落内に寺院関係の遺構があることが明らかになった遺跡ということで重要であるとしたところであるが、それを踏まえた資料の抽出が必要か。

笹生委員：学史的には、いわゆる「村落内寺院」という概念をつくったもととなる遺跡で、大規模寺院以外にも寺院があることを証明した遺跡でもある。そのため、いろいろな資料を総合的に抽出していることになると思う。それを踏まえると、永吉台遺跡群出土古代仏教関連遺物群という名称になるか。文字資料と仏教関連遺物をどのように名称に入れるか。あとは選び方である。現状は、仏具と文字資料とその他の資料と一緒に抽出されている。すべてが納得いく名称を付けることは難しい。

山田会長：何で線引きするのか。

笹生委員：仏教と入れた方が指定文化財の意味としては分かりやすい。

山田会長：仏教と入れてしまってよいか。

笹生委員：寺と書かれた資料があるので問題ない。しかし、仏教でくくると外れてくる文字資料が出てきてしまう。総花的に資料が抽出されているので、すべてを含めた名称が難しい。

高橋委員：文字資料の中に仏教関連以外の内容が書かれたものがあるので難しい。

笹生委員：遺物も仏教関連以外でもよいものがあるので、仏教関連遺物として統一的に示すことができない。究極的には、永吉台遺跡群出土資料群となるか。

（資料実見後）

山田会長：時代をしぼれるのか。

笹生委員：時代は8世紀末から10世紀までである。そもそものところ袖ヶ浦でこの資料をどのように見るかであるが、袖ヶ浦の文字資料としては古いグループである。これ以上古い文字資料はあるか。

事務局：上大城遺跡でも見つかっている。

笹生委員：上大城遺跡はほぼ同じ時期である。仏教関連遺物も出土している。永吉台遺跡群をどのように評価するかである。

山田会長：タイトルに永吉台遺跡群を含めるのか。地区名を2つ並べるのか。

笹生委員：報告書名も永吉台遺跡群である。地区名として、遠寺原地区と西寺原地区がある。

山田会長：遠寺原地区、西寺原地区と寺が入った方がイメージしやすいのではないかと。永吉台だと土器生産を思い浮かべる人もいると思う。

笹生委員：西寺原地区から土器生産関連の遺構が見つかっているが、資料数としては遠寺原地区の方が多い。ただ、西寺原地区では陶印が出土している。陶印については全国的にみても類例がないので、単独で指定してもよい資料である。西寺原地区は10世紀の土器生産の性格が強く、遠寺原地区は8世紀の後半から9世紀にかけてお寺が建てられた山寺的な性格である。地区で時代のピークと性格が異なるので、これを1つにまとめてしまうのも難しい。資料を並べてみると、西寺原地区の陶印と長文の文字が書かれた文字資料が重要である。お寺を強調するのか文字資料を強調するのか。文字資料としてまとめると座りがよいのではないかと。

山田会長：永吉台遺跡群に続けて両方の地区名を入れることはできないか。寺という文字が入っているので文字資料のイメージがしやすいのではないかと。

笹生委員：文字資料については、古代文字資料とした方がイメージしやすいのではないかと。

山田会長：名称に入れなければならないものは、永吉台遺跡群、古代文字資料でよいのか。地区名はどうするか。

笹生委員：永吉台遺跡群だけでよいのではないかと。

山田会長：指定名称は永吉台遺跡群古代文字関連資料群になるか。笹生委員によい名称を検討してもらいたい。

笹生委員：あとは、抽出資料を全て入れてしまうのか。文字資料と文房具関係にしぼるのか。または仏教関連も含めるのか。燈明皿も全て入れているが、学史的には重要であるが、それらをどう扱うか。

山田会長：懸念事項としては文字の選択か。陶印と長文文字資料を別にする必要はないのか。

笹生委員：吉原山王遺跡は、「吉原山王遺跡出土の墨書土器資料群」として指定しており、墨書土器にしぼりへらガキは抽出していない。

高橋委員：墨書土器の方が一般的である。古代文字だとイメージが湧きにくい。

笹生委員：墨書土器の方がわかりやすいが、へらガキも墨書と同じ書き方をしているものがあり、それらが除外されてしまうので、古代文字資料の方がよいのではないかと。

山田会長：今のところの指定名称として、永吉台遺跡群出土の古代文字資料及び関連資料群としたい。

高橋委員：今回除外したへらガキはどうするのか。

笹生委員：どのような資料を外したのか。

事務局：おろし金と思われるものや記号のようなものを外した。

笹生委員：格子状のものはクジだと言われている。信仰関係の遺物になるが、そこまで入れるのか。

山田会長：笹生委員に、名称の検討も含めて、それに合わせて資料の抽出も検討してほしい。

笹生委員：承知した。

山田会長：指定に向けては特に疑義はないと思われるので、次の回で資料を確定するようにしたい。

笹生委員：説明書きについては、学史的な内容も含めて一緒に考えていきたい。それに合わせて資料も検討していきたい。文字資料に限定するのか総花的にするのかだけは今日決めてしまった方がよいのではないかと。

高橋委員：今日の名称をみると総花的にするのではないかと。

野尻委員：素朴な疑問であるが、朱書きは墨書に含まれるのか。

笹生委員：基本的には墨書に含めてよい。朱墨で書いているものである。

山田会長：仮であるが、指定名称を、永吉台遺跡群出土の古代文字資料及び関連資料群としておくのでこれで進めてもらいたい。

議題（3）指定文化財候補について（光福寺の仏像について）

事務局：資料に沿って説明

山田会長：この仏像の調査を濱名委員に行ってもらったが、平安後期ということなので、セカンドオピニオンをもらうのはどうか。笹生委員、他に仏像を鑑定できる方を知らないか。

笹生委員：県審議会委員の前会長やその前の担当であった実践女子大の教授はどうか。その方は院政期の仏像、まさに平安後期が専門であったと思う。制作年代が室町時代であれば特に問題はないが、平安後期となるとインパクトが強い。

山田会長：市の方で誰か紹介してもらい、濱名委員とも話をし、仏像を見てもらった方がよいのではないかと。それからでも遅くはないのではないかと。一つだけ見てももらうよりも、他にも何体か見てもらえばよいのではないかと。

事務局：その方向で検討してみる。

議題（4）市指定文化財かしま人形の現状について

事務局：資料に沿って説明

（教育長退席）

高橋委員：かしま人形を作ることを維持していかなければならない。記録はあるようなのだが、作る所を動画で記録に残す必要がある。イッペガサを指定した際は、市民学芸員の方たちに協力してもらい動画を撮影した。同じように動画を撮影したらよい。やめるならば一度正確に記録を残すということで動画を撮影することが必要である。あとは、いろいろな機会でかしま人形を作ってもらえばよい。例えば、袖ヶ浦の郷土芸能を開催する際に、かしま人形を

飾るために作ってもらう。

山田会長：かしま人形が注目されているということを知らせてあげることが必要である。そうでなければ稲刈りの時期に作ってられないと思うので、時期をずらしてでも作ってみるのはどうか。

高橋委員：小学校などでかしま人形をつくる。伝統と文化を尊重するということは教育基本法にも規定されている。学校に相談するのはどうか。大きさも普通に作っているものではなく、小さくしてもよい。基本は学んでもらうが、あとは自由に作ってもらいコンテストなどをする。楽しみながら技術を学んでもらえればよいのではないか。

山田会長：ミュージアムフェスティバルで飾るなど、注目してもらう必要がある。収蔵庫にも収蔵されているはずである。

事務局：4年ぐらい前に展示したことがあるが、傷んでいる。

高橋委員：それを地元の人に見てもらう。傷んでいるところを直してもらう。

山田会長：以前、審議会で見学しに行ったことがある。電話をするだけではよくない。

事務局：地区の集会等で会って話をしてみたいと思う。

高橋委員：話をする際、絶対やめてはいけないということは言わない。やめてもかまわない。それも無形民俗文化財である。重荷を背負わせてはいけない。しかし、続けていかなければならないものである。言っていることが矛盾しているが、継続が難しいときは次の世代に渡してほしいということで進めていくとよいかもしれない。

山田会長：藁もこれから取れるようになる。

高橋委員：藁をとる場所についても、元々は決まっていたと思われるが、そういうことも掘り起こしていく必要があるのではないか。

山田会長：今日出た意見を精査して、地元によさしくアプローチしてほしい。

報告（1）飽富神社年中行事の実施について（御田植神事）

事務局：資料浴って説明

山田会長：飽富神社は役員、氏子がしっかりしているので、残っていくだろう。

事務局：マスコミも取材に来ている。

報告（2）その他（令和6年度文化財審議会日程について）

事務局：資料浴って説明

報告後、實形委員より、市指定文化財飽富神社東照宮について資料により説明

實形委員：昨年度、東照宮の修理工事が完了したので、改めてその歴史的価値を確認した方がよいということで資料を作成した。東照宮は全国に500社以上造られたと言われており、現存するものは130社ほどである。飽富神社東照宮は、元和8年4月に勧請されており、これは早い時期に勧請されたものである。分かりやすく言うと、徳川御三家に次ぐくらいの早さで勧請されたことになる。また、元治元年に再建した人が雄峯といい、西飯富にお墓がある。慶応3年の2月晦日に隠居し、明治維新後は旧知行地の飯富村でやっかいになり、飯富で亡くなって墓が造られたことになる。再建者の墓があるということも特筆すべき点であり、このような内容を説明に加えることで市民にア

ピールできるのではないか。

会議終了後、郷土博物館企画展「出羽三山と袖ヶ浦の山岳信仰」を見学

以上

令和6年度 第1回袖ヶ浦市文化財審議会 会議次第

日時 令和6年5月16日(木)
13:30～

場所 袖ヶ浦市郷土博物館研修室

1 開会のことば

2 会長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議題

- (1) 令和6年度文化財保護事業について
- (2) 指定文化財候補について(永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料)
- (3) 指定文化財候補について(光福寺の仏像について)
- (4) 市指定文化財かしま人形の現状について
- (5) その他

5 報告

- (1) 飽富神社年中行事の実施について(御田植神事)
- (2) その他

6 閉会のことば

令和6年度 第1回袖ヶ浦市文化財審議会資料

目 次

指定文化財及び市文化財審議会にかかる根拠法令
第25期袖ヶ浦市文化財審議会委員名簿

次第4 議 題

- (1) 令和6年度文化財保護事業について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- (2) 指定文化財候補について（永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料）・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- (3) 指定文化財候補について（光福寺の仏像について）・・・・・・・・ P 11
- (4) 市指定文化財かしま人形の現状について・・・・・・・・ P 15
- (5) その他

次第5 報 告

- (1) 飽富神社年中行事の実施について（御田植神事）・・・・・・・・ P 21
- (2) その他・・・・・・・・・・・・・・・・ P 23

別冊資料 議題（2）指定文化財候補について（永吉台遺跡群
出土の文字資料及び宗教関連資料）

指定文化財及び市文化財審議会にかかる根拠法令

袖ヶ浦市文化財の保護に関する条例より抜粋

第2章 市指定文化財

(指定)

第4条 教育委員会は、市の区域内に存する文化財のうち重要なものを袖ヶ浦市指定文化財（以下「指定文化財」という。）に指定することができる。

2 前項の規定による指定をするには、教育委員会はあらかじめ指定しようとする文化財の所有者、保持者又は権原に基づく占有者（以下「所有者等」という。）の同意を得なければならない。ただし、当該文化財の所有者等が判明しない場合は、この限りでない。

3 第1項の規定により指定をするときは、教育委員会はあらかじめ第24条の規定により設置する袖ヶ浦市文化財審議会（以下「審議会」という。）に諮問しなければならない。

4 第1項の規定による指定は、その旨を告示するとともに当該文化財の所有者等に通知して行う。

5 第1項の規定による指定は、前項の規定による告示があった日からその効力を生ずる。

6 第1項の規定により指定をしたときは、教育委員会は、当該指定文化財の所有者等に指定書を交付しなければならない。

第4章 市文化財審議会

(設置)

第24条 文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申し及びこれらに必要な調査研究を行うため袖ヶ浦市文化財審議会を置く。

(定数及び委嘱)

第25条 審議会は、非常勤の委員7名で組織し、文化財に関する学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第26条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第27条 審議会に会長及び副会長各1名を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

第25期 袖ヶ浦市文化財審議会委員名簿

氏 名	担当分野	備考
さそう まもる 笹生 衛	有 形 記念物	再 任 6期目
じつかた ゆうすけ 實形 裕介	有 形	初 任
たかはし まさる 高橋 克	民 俗	再 任 9期目
なりた あつひこ 成田 篤彦 (副会長)	記念物	再 任 9期目
のじり たかあき 野尻 孝明	有 形	初 任
はまな とくじゅん 濱名 徳順	有 形	再 任 2期目
やまだ つねお 山田 常雄 (会 長)	有 形 記念物	再 任 21期目

任期 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

議題 (1) 令和6年度文化財保護事業について

令和6年度に実施する予定の文化財保護事業について意見を伺うものです。

①令和6年度袖ヶ浦市教育基本方針及び目標

1. 基本方針

本市では、市のまちづくりの指針である「袖ヶ浦市総合計画」の5年目となり、市が目指す将来の姿である『みんなでつくる 人つどい緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦』の実現に向け、引き続き総合的な施策展開を図っているところです。また、総合計画内の基本計画の施策を実現するための具体的な指針である第2期実施計画の2年目にあたります。学校教育においては、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の“生きる力”の育成が図られ、開かれた学校づくりが進み、地域と協働した学校づくりを目指しています。

教育委員会では、令和3年度から令和12年度までを計画期間とし、本市教育行政の施策の方向性と施策を体系的にまとめた『第三期袖ヶ浦市教育ビジョン（袖ヶ浦市教育振興基本計画）』の前期計画の4年目にあたります。第三期教育ビジョンは、基本目標に『未来を創る 心豊かできいきとした 人づくり』を掲げ、【子ども】【生涯学習】【スポーツ】【文化財・文化芸術】の領域で基本目標を実現するための4つの目標を設定し、様々な施策についての取組を進めています。

今年度の主な取組について、学校教育では、人的配置の充実として子どもの心の問題や特別な支援の必要な児童生徒の増加への対応と、基礎学力の向上を目的に、引き続き人的配置を行います。また、医療的ケア児への対応として医療的ケアが必要な児童の支援のため看護師派遣を委託したり、要保護及び準要保護児童生徒へ就学支援金や入学準備金の支援を行います。さらに、学校ICT教育への支援、教育支援教室「のぞみ学級」の運営、小中学校の外国語授業への支援、教育相談事業及び児童・生徒教育支援事業の充実について、引き続き取組を進めてまいります。教育環境の整備については、昭和地区における生徒数増加への対応として、令和8年度の供用開始に向け、昭和中学校増築校舎の工事を進めます。

生涯学習の充実については、公民館の施設管理を市長部局に移管し、これまで公民館が担ってきた社会教育を通じたまちづくりと、市民協働によるまちづくりを合わせて推進するため、公民館の機能を包含した地域の拠点づくりを目指します。

スポーツ・レクリエーション環境の充実については、引き続き総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、市内の体育施設等を活用して、プロ・社会人・高校・大学などの大会や合宿を誘致することで、市民に質の高いスポーツを「みる」機会を提供し、スポーツ参加の意識醸成を図ります。

郷土の歴史と文化財の保存・活用については、国史跡山野貝塚の整備等、地域に伝えられた文化財を次世代に継承するとともに、展示等による公開や活用を図るため、資料の保存環境の整備やデジタル化を進めます。

以上、これらのことを踏まえ、本市教育のさらなる発展を目指し、基本目標の実現に向け、『令和6年度袖ヶ浦市教育基本方針及び目標』を定め、教育の向上に努めます。

Ⅱ. 目 標

4 文化財に親しみ、文化芸術を楽しむ場を創造します

【文化財・文化芸術】

(1) 郷土の歴史と文化を学び、伝える活動の推進

社会が急速に変化する中で、市民が「心のよりどころ」を持ち、郷土の歴史と文化について理解を深めることは、本市の未来を創る上で重要なことです。

そのため、国史跡山野貝塚をはじめとした市内の文化財を保護し、研究を進め、活用を促進する活動を市民との協働により行います。

また、郷土博物館は、蓄積した地域資料と情報・人材を活用し、地域交流・世代間交流の拠点を目指すとともに、後世に伝える活動を推進します。

①国史跡山野貝塚の保存・研究・活用

○教育ビジョンに示された施策

- ・山野貝塚の保存活用事業の実施
- ・山野貝塚の内容確認調査・整備に伴う調査の実施
- ・山野貝塚の整備基本計画の策定と整備の実施
- ・山野貝塚ボランティアの募集・講座の開催

②文化財の保存・活用

○教育ビジョンに示された施策

- ・市指定文化財の指定及び保存管理への支援
- ・地域の文化財の公開や活用の促進
- ・未指定文化財の調査・研究

③無形民俗文化財の保護と継承

○教育ビジョンに示された施策

- ・無形民俗文化財等の周知
- ・無形民俗文化財の活動及び継承への支援
- ・上総掘り技術伝承団体に対する支援

④市民とともに歩む博物館活動の充実

○教育ビジョンに示された施策

- ・地域資料と情報の収集・保存・管理・活用
- ・ボランティア等の育成と博物館活動を通じた生きがいの醸成
- ・博物館の資料と人材を活用した地域交流・世代間交流の促進
- ・誰にでもやさしい博物館活動の実践
- ・「袖ヶ浦市史研究」の刊行と地元研究者の育成

(2) 地域に根差した文化芸術活動の推進

多くの市民が、気軽に優れた文化・芸術に親しみ新たに参加することができる機会を提供するとともに、多種多様なジャンルの創造活動を行う市民への支援や、活動の成果を発表する機会を提供します。

また、新たに文化芸術活動を行う市民へきっかけづくりとして、すでに文化・芸術活動を行っている市民とともに、体験教室を開催します。

さらに、優れた文化芸術活動を行う団体を支援し、鑑賞の機会の充実を図ります。

①文化・芸術振興のための市民活動の支援

○教育ビジョンに示された施策

- ・市民の文化・芸術活動や文化芸術団体の事業の支援
- ・文化芸術活動を行う市民・サークル・団体等への発表の機会の提供

②文化・芸術鑑賞機会の充実

○教育ビジョンに示された施策

- ・市民が身近で鑑賞できる展覧会等の開催
- ・あらゆる世代を対象とした鑑賞機会の提供

令和6年度 施策の目標設定

基本目標 『未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり』

基本目標を実現させる4つの目標	施策の方向性	施策	目標値の考え方	目標値
4) 文化財に親しみ、文化芸術を楽しむ場を創造します 【文化財・文化芸術】	(1) 郷土の歴史と文化を学び、伝える活動の推進 (担当課等) 生涯学習課 博物館	①国史跡山野貝塚の保存・研究・活用	山野貝塚体験会等参加者数	40人以上
			山野貝塚ボランティア登録数	24人
		②文化財の保存・活用	指定文化財調査件数	年3件
		③無形民俗文化財の保護と継承	民俗行事等周知回数	年4回
	(2) 地域に根差した文化芸術活動の推進 (担当課等) 生涯学習課 博物館	④市民とともに歩む博物館活動の充実	上総掘り体験会開催数	年1回
		④市民とともに歩む博物館活動の充実	協働事業の実施回数	年8回
	①文化芸術振興のための市民活動の支援	文化芸術活動団体事業後援件数	30件	

②令和6年度文化財保護事業について

No.	事業名 (事業費:千円)	目的・内容	時期・回数	対象・人数
1	文化財審議会関係費 (242)	市指定文化財の指定及び文化財の保存・活用に関して、教育委員会の諮問に応じて意見を具申します。また、文化財の保護のための調査研究活動を行います。	通年 (会議4回)	委員 7人
2	総合的な文化財の保存・活用事業 (1,697)	<p>貴重な文化財の保護と活用を図るため、指定文化財管理者に対しては、管理や修理に対し、補助金を交付します。また、市内から出土した貴重な出土品などの展示会や遺跡説明会を開催し、埋蔵文化財の重要性や価値を周知し、市民の興味関心を高め、文化財に対する理解を求めます。</p> <p>鉄製品など腐朽しやすい出土品の保存処理を実施し、今後の公開活用に備えます。</p> <p>○文化財補助事業 指定文化財所有者・管理者に補助金を交付し、適切な維持管理を行う。</p> <p>○民俗・伝統芸能保護・継承事業 民俗芸能を継承する団体及び個人に対して支援などを行う。(市内の民俗芸能継承団体の発表を行う、袖ヶ浦の郷土芸能を開催予定)</p> <p>○埋蔵文化財保存活用事業 劣化しやすい資料を適切に保存処理し、活用する。(鉄製品保存処理(雷塚遺跡鉄製品))</p> <p>○その他 全国史跡整備市町村協議会・千葉県史跡整備市町村協議会への参加</p>	通年	
3	埋蔵文化財整理棟施設管理事業 (727)	埋蔵文化財保護にかかわる施設の維持管理に努めます。	通年	
4	埋蔵文化財調査事業 (20,138) 内訳 国庫補助事業 5,346 市単費事業 4,345 民間開発事業 10,447	<p>市内に所在する遺跡について、各種開発行為に伴い、発掘調査を行い記録保存します。記録保存した遺跡は、発掘調査報告書として残していくとともに、市内の埋蔵文化財として公開します。</p> <p>○市内遺跡 確認調査・個人受託建設等に伴う本調査、整理報告書刊行</p> <p>○民間開発事業 整理・報告書刊行(寺野台遺跡、蔵波砦、大曾根台畑遺跡)、発掘調査未定</p> <p>○開発事業に伴う試掘</p>	通年	

No.	事業名 (事業費:千円)	目的・内容	時期・回数	対象・人数
5	山野貝塚保存活用 事業 (15,576) 内訳 発掘調査関係費 2,187 用地取得関係費 2,222 環境整備関係費 6,160 史跡整備関係費 4,254 活用関係費 603 その他旅費等 150	国史跡山野貝塚について、史跡山野貝塚整備基本計画に基づき、発掘調査等により整備に必要な情報を蓄積するとともに、整備基本設計を進める。また、山野貝塚ボランティアとの協働による史跡ガイドツアーや環境整備の実施により、史跡の保存・活用を進展させる。 ○発掘調査、ボーリング調査 ○整備の基本設計検討 ○史跡の公有地化 ○イボキサゴ採取会等体験会の開催 ○ボランティア組織の運営 ○史跡の維持管理（草刈り）	通年	

③令和6年度文化財保護事業関係予算

当初予算 単位：千円

	事業名	内容	時期	令和6年	令和5年	増減
				度予算	度予算	
1	文化財審議会関係費 (0002-01)	文化財の指定及び文化財の保護・活用（会議等 4回） 【内訳】 報酬 旅費 需要費	4月～3月	242	242	0
				186	186	0
				53	53	0
				3	3	0
2	総合的な文化財の保存・活用事業 (0002-02)	指定文化財補助、文化財保護全般 【内訳】 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料 ・システム保守管理委託料 ・御手洗井植栽等管理委託料 ・出土鉄製品等保存処理 負担金・補助金 ・負担金 ・市指定文化財補助金 文化財保険・維持管理費 6件 文化財保険のみ 1件 維持管理費のみ 16件	4月～3月	1,697	1,754	▲57
				140	140	0
				14	14	0
				66	95	▲29
				15	15	0
				717	764	▲47
				165	277	▲112
				57	56	1
				495	431	64
				745	726	19
				44	44	0
				701	682	19

	事業名	内容	時期	令和6年度予算	令和5年度予算	増減
3	埋蔵文化財整理棟施設管理事業 (0002-03)	埋蔵文化財整理棟及び埋蔵文化財収蔵庫管理 【内訳】 需用費 ・消耗品費 ・燃料費 ・光熱水費 役務費 委託料 ・整理棟警備委託 ・床清掃委託料 ・ガス湯沸器点検委託 使用料・賃借料 一般負担金	4月～3月	727	727	0
				135	139	▲4
				70	74	4
				30	30	0
				35	35	0
				102	102	0
				341	338	3
				185	185	0
				156	144	12
				0	9	▲9
				97	97	0
				51	50	1
4	埋蔵文化財調査事業 (0002-08)	埋蔵文化財発掘調査及び整理作業・報告書刊行 【内訳】 ●市内遺跡発掘調査等(国庫・県費補助事業) 確認調査・本調査・報告書刊行 ・宮ノ越貝塚(整理、報告書刊行) ●市単費事業 開発に伴う試掘等 ●民間開発事業 ・未決定 3,000 m ² 会計年度任用職員報酬 職員手当等 共済費 報償費 旅費 需用費 ・消耗品費 ・燃料費 ・印刷製本費 役務費 委託料 ・その他委託料 測量設計 使用料・賃借料	4月～3月	20,138	20,573	▲435
				9,183	8,815	368
				645	342	303
				157	141	16
				8	8	0
				709	741	▲32
				2,391	1,614	777
				497	398	99
				39	75	▲36
				1,855	1,141	714
				5	0	5
				1,848	1,896	▲48
				1,848	1,896	▲48
				5,192	7,016	▲1,824

	事業名	内容	時期	令和6年度予算	令和5年度予算	増減
5	山野貝塚保存活用事業 (0002-09)	山野貝塚を国史跡として保存し、将来的には史跡公園等として整備し、公開する。	4月～3月	15,576	12,910	2,666
		【内訳】				
		会計年度任用職員報酬 (整理等)		892	1,343	▲451
		報償費		667	668	▲1
		報償物品		5	0	5
		旅費		155	197	▲42
		需用費		584	129	455
		・消耗品費		118	80	38
		・燃料費		63	36	27
		・食糧費		5	5	0
		・印刷製本費		398	8	390
		役務費		1,299	290	1,009
		委託料		10,761	10,142	619
		・計画策定委託料		0	3,641	▲3,641
		・基本設計等委託料		3,850	0	3,850
		・その他委託料		6,911	6,501	410
		除草委託		5,610	5,434	176
		土壌分析委託		0	1,066	▲1,066
		ボーリング調査委託		869	0	869
		基準点測量委託		266	0	266
		補償物件調査委託		165	0	165
		使用料・賃借料		153	141	12
		原材料費		34	0	34
		公有財産購入費		807	0	807
		補償補填及び賠償費		219	0	219
6	車両維持管理費 (0004-01)	公用車維持管理費 (発掘調査及び事務連絡用1台)	4月～3月	171	173	▲2

合計 38,551 千円 (前年度予算 36,379 千円) 前年度比 2,172 千円

議題（２） 指定文化財候補について （永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料）

令和6年2月15日に開催した令和5年度第4回文化財審議会において、指定文化財候補「永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料」として資料を実見いただき、ご意見及びその対応について以下のとおりまとめました（別冊資料参照）。

つきましては、抽出した資料についてご意見を伺うものです。

○ご意見及びご意見への対応（→はご意見への対応）

ヘラ記号土器は文字資料とは言い難いため、候補から除外する。

→ヘラ記号土器を一覧から外した。

文字資料及び宗教関連資料162点を候補として選定した。

文字資料：93点（墨・朱書土器82点、ヘラ書土器10点、陶製印1点）

文字関連資料：17点（硯11点、帯飾具4点、水滴1点、温石1点）

宗教関連資料：52点（灯明皿等36点、瓦塔2点、レンガ状土製品4点、
香炉蓋2点、薬壺1点、鉢等5点、土馬2点）

※墨書及びヘラ書が施された灯明皿は文字資料にカウントしている。

議題（３） 指定文化財候補について（光福寺の仏像について）

令和6年2月15日に開催した令和5年度第4回文化財審議会において、本件について2回目のご審議をいただき、以下の2点について検討するようにご指示をいただきました。

つきましては、その検討結果についてご報告するので、ご意見を伺うものです。

1 千葉県文化財課との協議

令和4年度第3回文化財審議会において、千手観音菩薩立像が平安後期の制作であるならば県の文化財に指定される可能性があるというご指摘をいただきましたが、前回の会議におきまして、調査を担当された濱名委員から、後世の手がかなり加わっており状態が思わしくないことから県指定にするのは難しいので、まずは市指定にすることが得策ではないかとのご意見をいただき、千葉県の担当者に話をするようにご指示をいただきました。

そのため、4月8日にこの内容を千葉県文化財課の担当者に伝えたところ、まずは市指定として、その後の状況により千葉県の審議会委員に見てもらおう流れがよいとの意見をいただきました。

つきましては、まずは市指定文化財としての指定を目指して進めていきたい。

2 所有者との協議

千手観音菩薩立像の置き方が危険とのことから、所有者に置き方について話をするようにご指示をいただきました。

そのため、4月10日に光福寺を訪問し、住職と世話人（近年の千手観音菩薩立像の修復等に携わった方）に審議の現状と安置方法について話をしました。

千手観音菩薩立像の安置方法等現状は12、13ページのとおりです。仏像は一段高い棚の上に安置されており、床から棚を貫く支柱に両腕に鎖を絡めて固定している状況でした。世話人はこれまで特に問題がないとおっしゃっていましたが、能登半島地震をはじめ、最近地震が多いことなども踏まえて安置方法について検討してもらおうよう伝えました。

なお、4月10日に不在であった住職代理（住職の息子）と檀家の代表に、4月24日に光福寺に集まっていただき、現状の審議内容を伝え、市指定に向けて検討いただくよう依頼しました。住職代理からは、指定により良い意味でも悪い意味でも目立ってしまうということ、自然災害等により指定された仏像が大きく破損した場合の補助などについて質問がありましたが、全体的には指定に前向きな印象を受けました。本審議会までに指定の可否について回答をいただくよう依頼しました（資料作成時点では未回答）。



光福寺仏像等配置状況（正面向って左に千手観音菩薩立像）



千手観音菩薩立像現況正面



千手観音菩薩立像現況背面



千手観音菩薩立像現況側面



千手観音菩薩立像現況背面 支柱が床面に接している箇所

議題（４） 市指定文化財かしま人形の現状について

市指定文化財「かしま人形」は県内でも稀な行事として、昭和53年に市の文化財に指定されたが、近年では新型コロナウイルス感染症での中断をきっかけに、再開されていない。今後の行事の保存、継承についてご意見を伺うものです。

1. かしま人形の概要

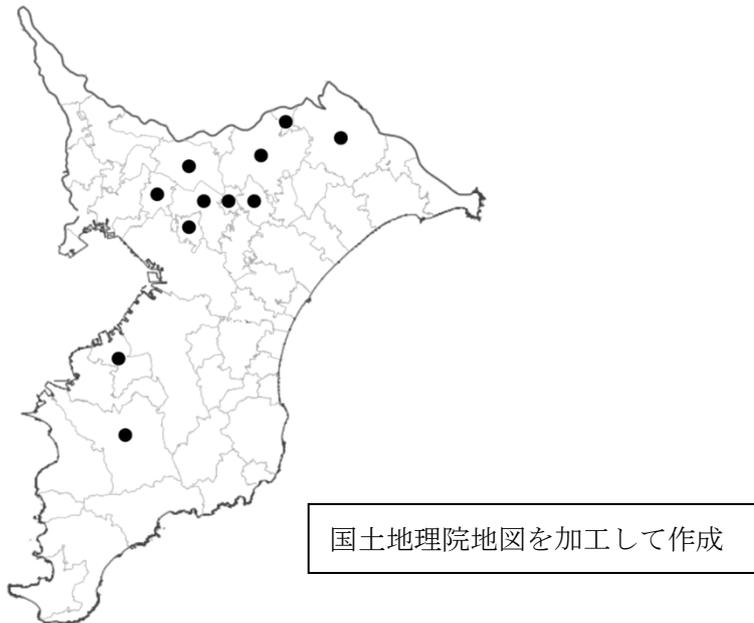
指定文化財台帳

指定年月日	昭和53年4月1日	袖ヶ浦市教育委員会	
指定番号	袖文指第4号	告示 第 号	
種別	民俗文化財 無形民俗文化財		
名称及び員数	かしま人形		
所在地	袖ヶ浦市阿部20番地2 春日神社		
略歴	<p>新しいワラで男女一對の等身大のワラ人形をつくり阿部部落の鎮守さまに奉納、悪病退散と五穀豊穡を祈るという行事で、この奇習は、「かしま人形」と呼ばれ、古くから伝わっている。</p> <p>男女それぞれのワラ人形が武者姿で、手足の指が人間より一本少ない四本と定めており、男は袖がらみを、女は薙刀を持つ。</p> <p>いつ頃の発祥か定かでないが、宝暦11年(1761) 夷隅郡の中村国香が記した紀行文「房総志料」の中に「望陀郡三ヶ村という処の秋社に大なる草偶人を作り華表柱の左右に建」という記述があり、そのころには阿部地区においても行われていたと推測される。</p> <p>戦前までは小櫃川沿岸の地区で広く行なわれていたが、今では阿部区、及び君津市域の一部にしか残っていない。</p>		
現況	<p>毎年9月上旬、阿部区春日神社の行事として実施されている。</p> <p>袖がらみ、薙刀先端、鏝を作成できる人物が現在1名のみ(H26)</p>		
指定理由	県内でもまれな民俗行事であり、地域により守り伝えられてきたものであるため。		
構造及び形式又は寸法、重量若しくは材質、その他の特徴	<p>最初に頭を作る。一本の長い腕を作り、中央に頭を差し、固定する。箱型の木枠に頭を差し込んだ腕を置き、木枠の中にワラを詰め胴体を作る。胴体下部を2つに分け、ワラを継ぎ足して長く伸ばし足を作る。当地方において正月に飾る注連縄を5手、7手、12手で作成し、衣装とする。両人形ともに腰に竹棒の刀を二本ずつ差し、男は頭部に髷、左手に袖がらみ、女は右手に薙刀を持つ。手足の指は左右どちらかが4本となる。</p>		
年月日	所有者等氏名	住所	摘要
S 53. 4. 1	阿部区	袖ヶ浦市阿部20番地2	

○香取・印旛地域の「人形送り」

香取・鹿島神宮に近い香取・印旛地域に分布する。仔細は地域により異なるが4～50cm程度の藁やマコモの武者人形を竹の先端に付け、「藁つと」に餅や団子を持たる。食べると無病息災が得られる。人形叩きと呼ばれる人形同士を叩き合う行為を含む。人形は村境等に立てたり、川に流す。「香取鹿島の大明神、戦に勝ってミーサイナ」といった類のはやし言葉が付随する。

人形送り・かしま人形分布図（市町村単位）



○小櫃川流域のかしま人形

1. 等身大、2. 男女一対が多い、3. 槍や長刀等を持つ、4. 団子や菓子を持たせる（阿部は持たない）5. 村境等に立たせる 等の特徴を持つ。



国土地理院航空写真を加工して作成

2. かしま人形製作手順（平成26年度）

日時：平成26年9月7日（日） 午前9時～11時30分

場所：阿部区公会堂（春日神社付近）



①女性が縄をなう



②刀の鐔、薙刀、袖がらみは事前に作成



③上総地方の正月飾り（注連縄）を事前に作成
巻きつけて衣装とする



④頭部作成の小道具（自作）



⑤半球形の道具に藁を差し込む



⑥球面に沿って折り曲げる



⑦ボールを被せ、ひっくり返し、半球の道具を抜く



⑧中に藁しぶを詰めて、首元を縛る



⑨木枠に藁を敷く



⑩頭部を藁束に差し込む



⑪藁しぶを詰める



⑫胸部を縛って纏める



⑬藁を継ぎ足し、縛って足を作る



⑭腕も同様に作成



⑮縄をなう要領で指を作る



⑯衣装を着せる



⑰頭頂部を押し広げて鬘を付ける



⑱男人形の鬘



⑲鳥居柱に縛り付ける



⑳大小刀を差す



3. かしま人形の現況

- ・昭和53年指定

- ・平成26年

現況調査実施、製作時調査

地元区民によると、保存会を作ろうという動きもあったが、活動内容が乏しい（藁人形を作るだけではモチベーションが続かない）ために断念。長刀等を作成できる人物に限られるために、習う必要があると認識していた。

- ・令和2～4年

新型コロナウイルス感染症のため中断

- ・令和5年

阿部区長に現況確認、長刀等を作成できる人物がいないため中断

- ・令和6年

阿部区長に現況確認、人がいないために中断、長刀を作成できる人物はいるが、70代の高齢者のみ、とのこと。

○課題

1. 現在のままでは再開する見通しが立っていない。
今後、再開に向けて何が必要か。
2. 技術保持者が乏しい現状をどのように打開するか。

報告（１）飽富神社年中行事の実施について（御田植神事）

令和5年、指定文化財となった「飽富神社唯一社頭年中行事帳」に掲載され、現在も行われている「御田植神事」が今年も実施されたので、その内容を報告するものです。

飽富神社唯一社頭年中行事帳より抜粋

朔日

△御田植の神曳

御神記にも此事あり

四月朔日此地にあまくだりまして御田をうへ給ふとあり

今日下池より人足にて葦をかりて大丸壺束上ル

社人は是を前例のごとく苗二つくる、二本ツゝそろへてくの木の小ゑだを
は共二中ほどにゆいつける、わらみごにて結なり

神納村神主もなへ取やく、當村藤左衛門田うなひやく、社人物右衛門方
娘の子ノ月やくにならざるを出して早乙女にたてる、右のなへ作り終て神
前へさゞ（ママ）けて神哥をとなへるなり

先うちならし三ツ、三種加持かしわ手二

一つぶをやそやよろづにますかゞみたからをふらすわたずみ神、三反とな
へてかしわ手二ツ

大こをうつ、それより鳥井のまへ二いづる

如此二作るなり

七拾五手なり

十二手ツゝ社人のまへに立て



如此ニ立かけて、手まへを向のものへと段々とりかへく
して、たがひに一手二束ツゝかぞへとりかゆるなり、終りて

右のごとく石だんのうへに立て、まづ早乙女是を南へむかひてなけいだ
す、諸参詣の人々ひろいとる、社人も段々なげるなり、是をひろいとりし
もの初て田をうゆる時よしそふる也とて、吉日ニ田へうゆるなり

開催日：令和6年4月14日（日）

午前8時過ぎ 葦苗、神事の準備

午前10時ころ 神事開始（修祓、献撰、祝詞、玉串奉奠、撤饌）

午前10時30分ころ 御田植開始

午前11時ころ 終了、直会

※写真は昨年度のもの



葦苗製作風景



葦苗製作風景近景



完成した葦苗



束ねた葦苗



神事後、鳥居前に移動



葦苗を投げる早乙女

報告（２）令和６年度文化財審議会日程について

令和６年度の文化財審議会開催日を以下のとおりとしますので、日程の調整についてお願いいたします。

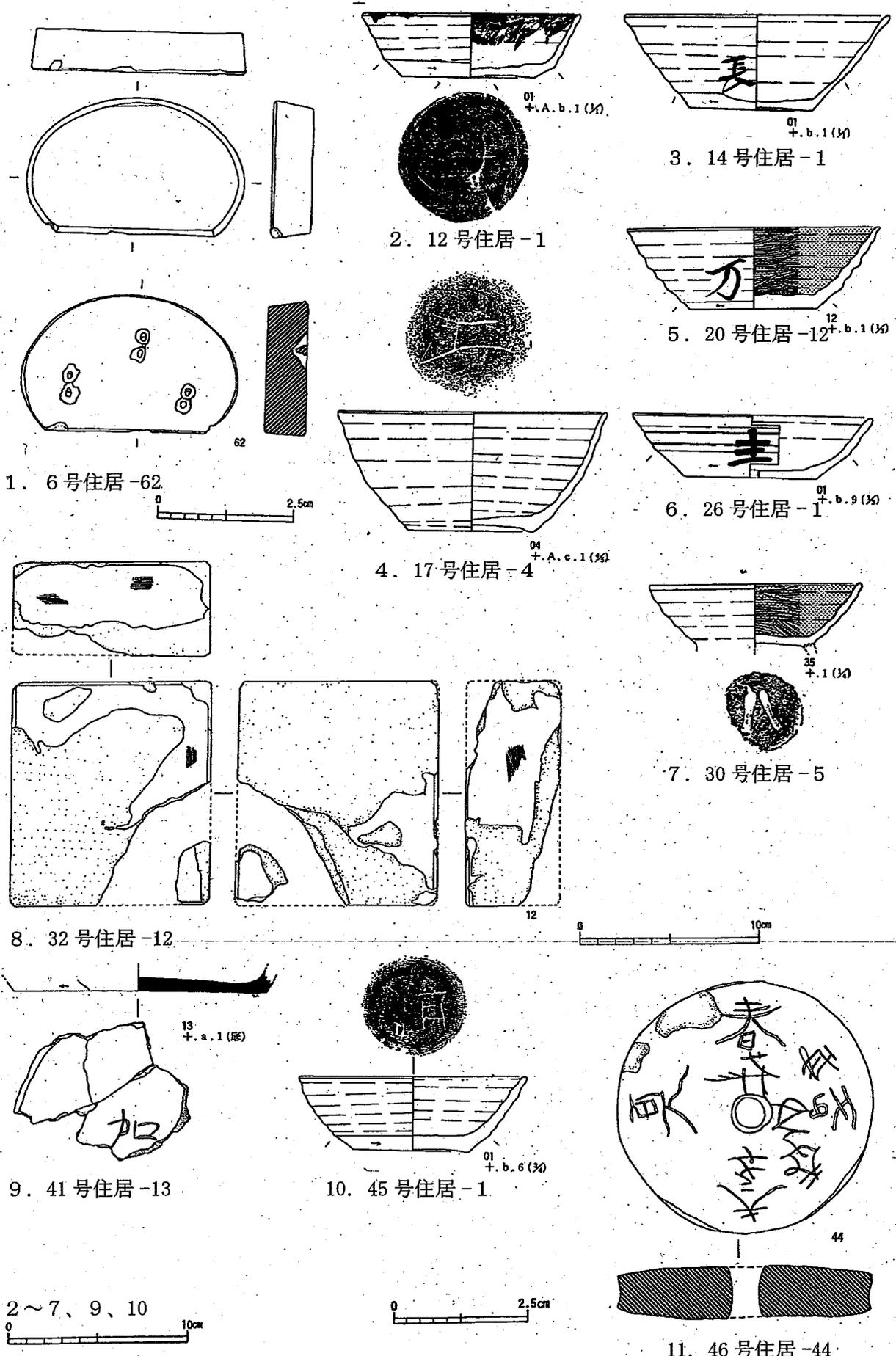
日 時	内 容	場 所
5月16日(木) 午後1時30分 ～	議題 (1) 令和6年度文化財保護事業について (2) 指定文化財候補について（永吉台遺跡群出土の文字資料及び仏教関連資料） (3) 指定文化財候補について（光福寺の仏像について） (4) 市指定文化財かしま人形の現状について (5) その他 報告 (1) 飽富神社年中行事の実施について（お田植神事） (2) その他	袖ヶ浦市郷土博物館
8月8日(木) 午後1時30分 ～	議題案 (1) 袖ヶ浦市指定文化財候補について	袖ヶ浦市役所 北庁舎3階災害対策室
11月7日(木) 午後1時30分 ～	議題案 (1) 袖ヶ浦市指定文化財候補について	袖ヶ浦市役所 北庁舎3階災害対策室
2月13日(木) 午後1時30分 ～	議題案 (1) 令和7年度事業の方向性について (2) 袖ヶ浦市指定文化財候補について	袖ヶ浦市役所 北庁舎3階災害対策室

別冊資料

議題（２）

指定文化財候補について

（永吉台遺跡群出土の文字資料及び
宗教関連資料）



1. 6号住居-62

2. 12号住居-1

3. 14号住居-1

5. 20号住居-12

6. 26号住居-1

4. 17号住居-4

7. 30号住居-5

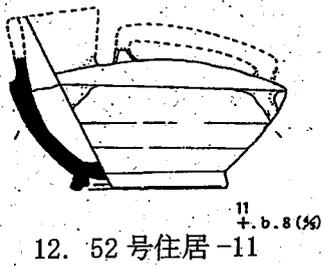
8. 32号住居-12

9. 41号住居-13

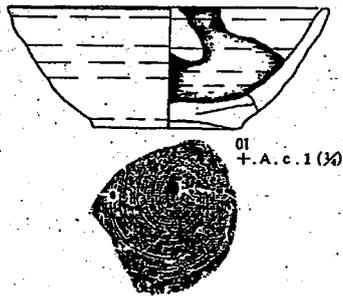
10. 45号住居-1

11. 46号住居-44

永吉台遺跡群出土文字資料及び宗教関連資料 西寺原地区①



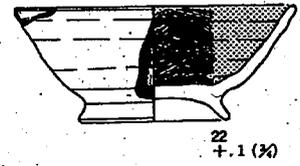
12. 52号住居-11
11
+ b. 8 (3/4)



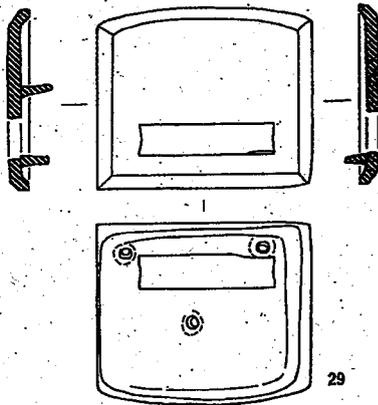
14. 68号住居-1
01
+ A. c. 1 (3/4)



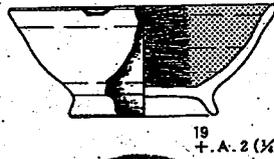
15. 68号住居-17
17
+ 1 (3/4)



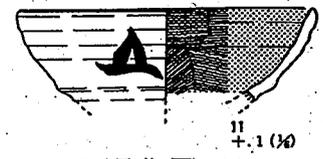
17. 68号住居-22
22
+ 1 (3/4)



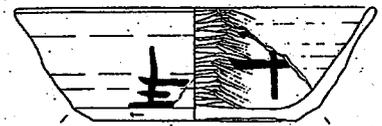
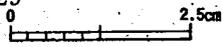
13. 61号住居-29
29



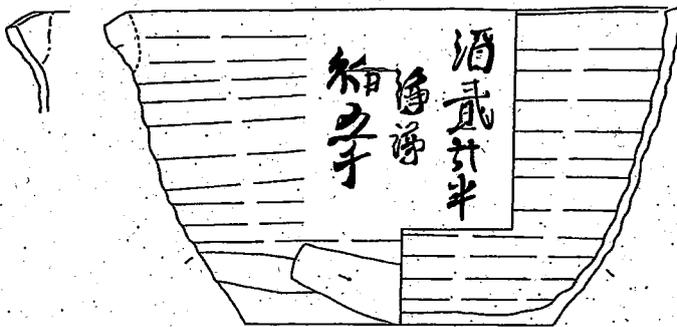
16. 68号住居-19
19
+ A. 2 (3/4)



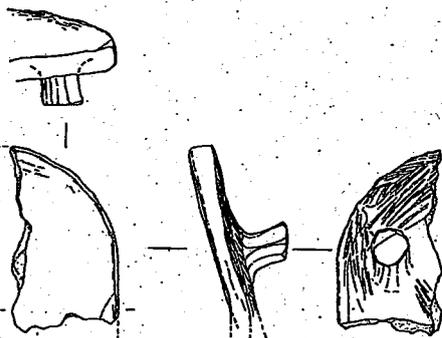
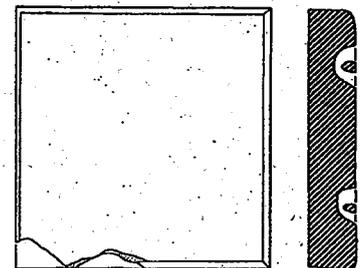
19. 79号住居-11
11
+ 1 (3/4)



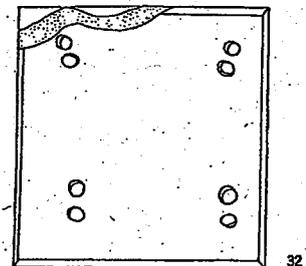
20. 83号住居-4
04
+ b. 1 (3/4)



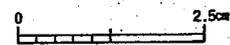
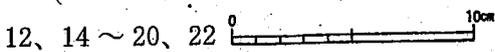
18. 72号住居-8
08
+ a. 9 (3/4)

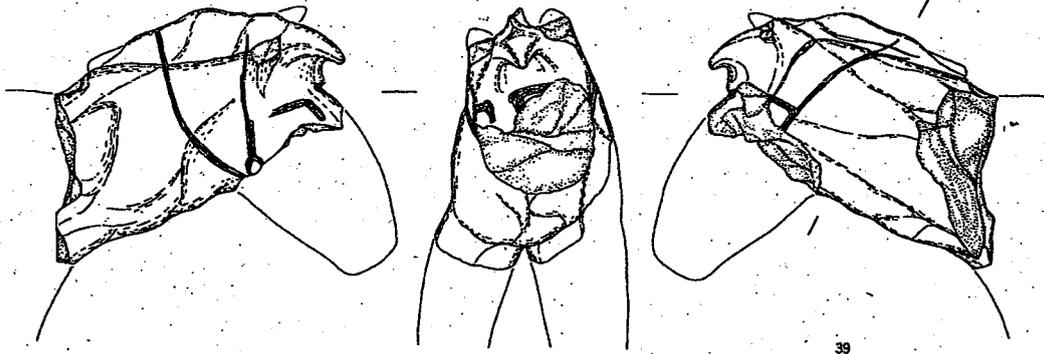


22. 93号住居-5
131

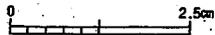


21. 87号住居-32
32

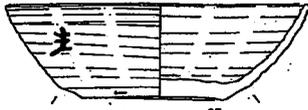




39

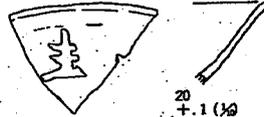


23. 92号住居-39



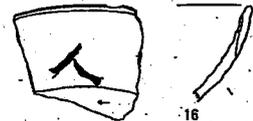
05
+ b.4 (㊦)

24. 93号住居-5



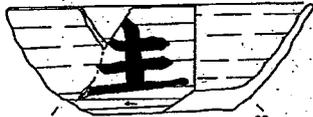
20
+ .1 (㊦)

25. 93号住居-20



16
+ b.1 (㊦)

26. 94号住居-16



02
+ b.1 (㊦)

27. 98号住居-2



03
+ b.1 (㊦)

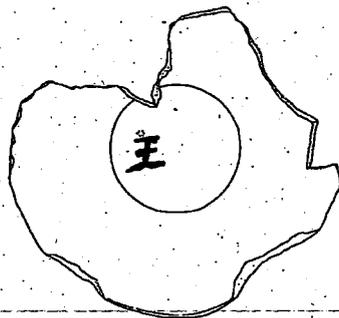
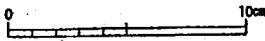
28. 98号住居-3



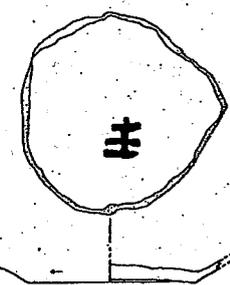
07
+ A. a. 6 (㊦)

29. 98号住居-7

24~31, 33, 34

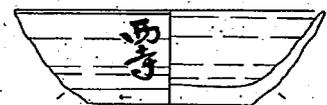
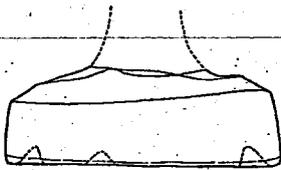


30. 101号住居-8



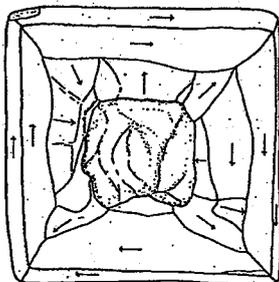
10
+ b.1 (㊦)

31. 101号住居-10



02
+ b.1 (㊦)

33. 109号住居-2



13

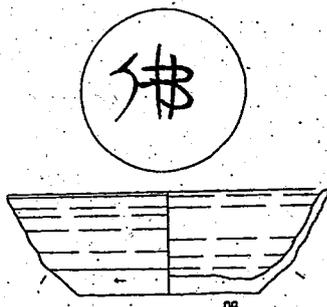
32. 106号住居-13



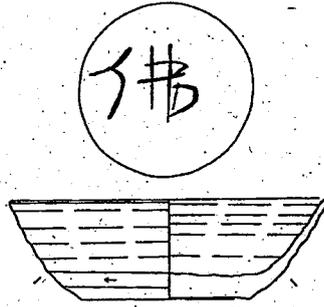
34. 109号住居-7

永吉台遺跡群出土文字資料及び宗教関連資料

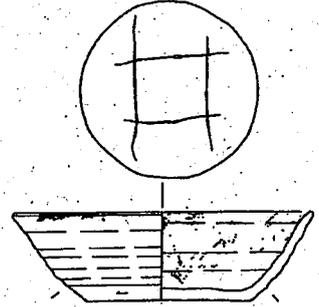
西寺原地区③



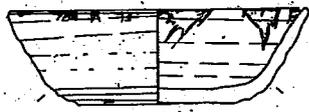
35. 110号住居-9
09
+ b. 4 (3)



36. 110号住居-10
10
+ b. 4 (3)



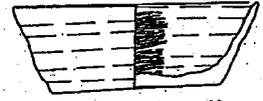
37. 116号住居-1
01
+ b. 1 (3)



02
+ A. b. 6 (3)



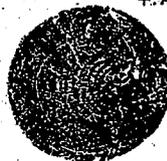
03
+ A. b. 6 (3)



10
+ A. c. 1 (3)



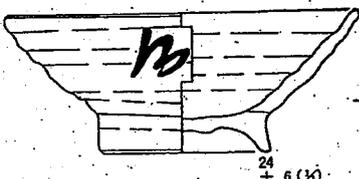
38. 116号住居-2



39. 116号住居-3



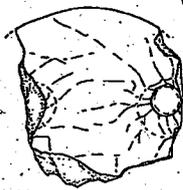
40. 116号住居-10



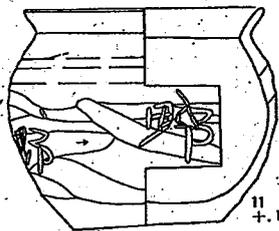
24
+ . 6 (3)



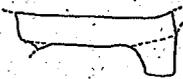
38



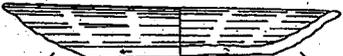
41. 118号住居-24



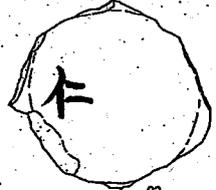
11
+ b. 1 (3)



42. 121号住居-38



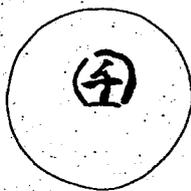
01
+ b. 6 (3)



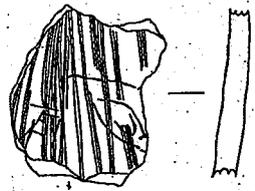
03
+ b. 1 (底)

46. 3号建物-3

43. 122号住居-11

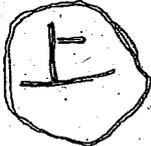


45. 2号建物-1

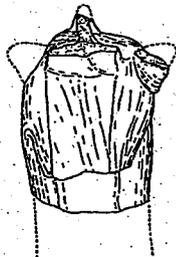


21
9 (底)

48. 53号土器焼成遺構-21



44. 124号住居-12



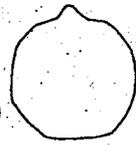
05

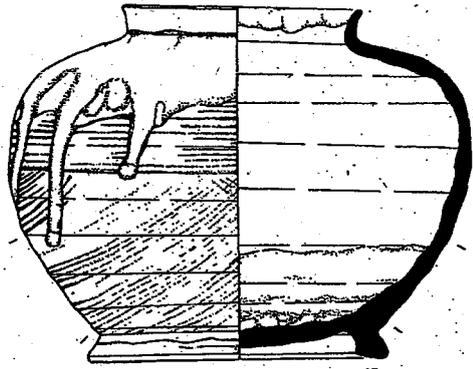
47. 16号土器焼成遺構-6

35 ~ 46, 48
0 10cm

47
0 2.5cm

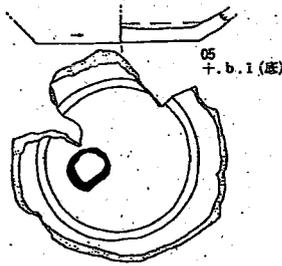
永吉台遺跡群出土文字資料及び宗教関連資料 西寺原地区④





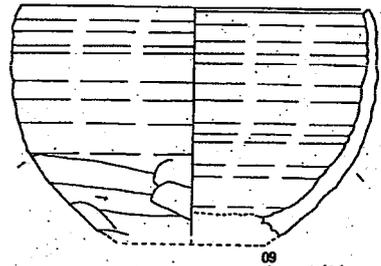
49. 2号住居-27

27
+ . b . 7 (3%)



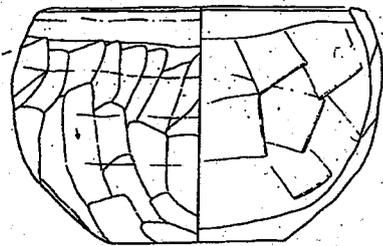
50. 3号住居-5

05
+ . b . 1 (底)



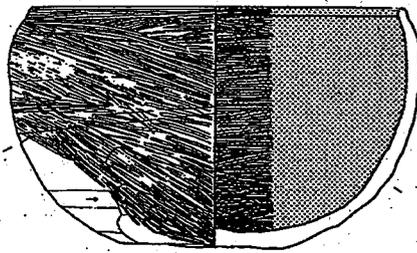
51. 3号住居-9

08
+ . a . 2 (3%)



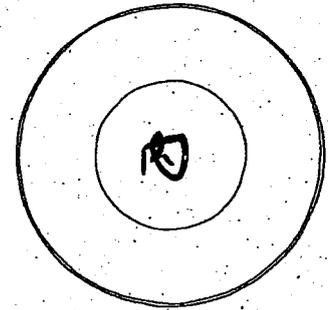
52. 7号住居-6

06
a . 2 (3%)



53. 7号住居-7

07
+ . a . 2 (3%)



54. 8号住居-11

11
+ . b . 2 (3%)



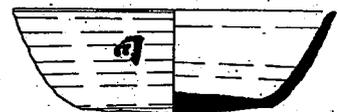
55. 8号住居-14

14
+ . b . 4 (3%)



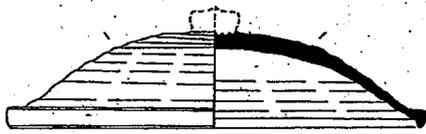
56. 8号住居-15

15
+ . 1 (3%)



58. 11号住居-29

29
+ . A . b . 8 (3%)



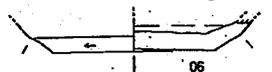
60. 16号住居-14

14
+ . 7 (3%)



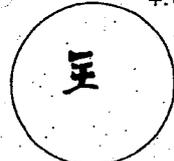
57. 11号住居-1

01
a . 1 (3%)



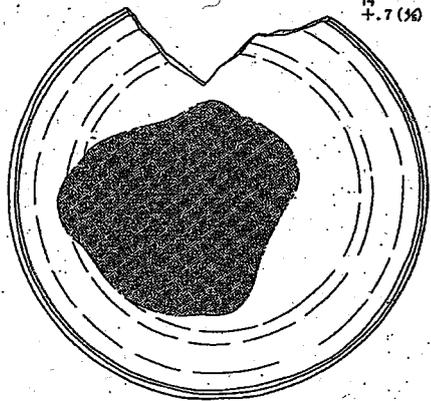
59. 12号住居-6

06
+ . b . 1 (底)



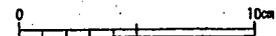
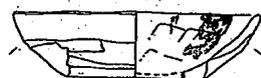
62. 18号住居-3

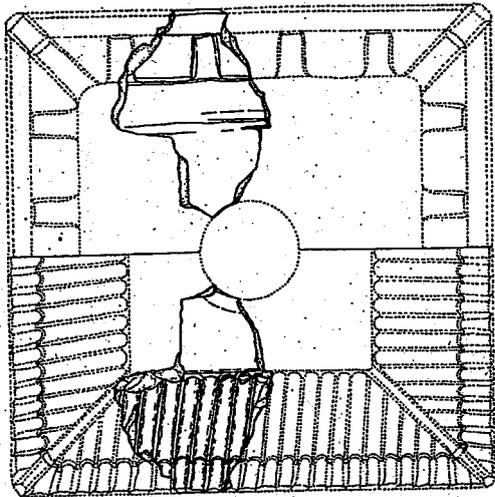
03
+ . b . 4 (3%)



61. 18号住居-2

02
+ . a . 2 (3%)





63. 18号住居-17・18



17



18



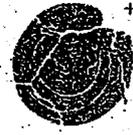
66. 20号住居-2

02
+b.1(%)



65. 20号住居-1

01
+A.b.6(%)



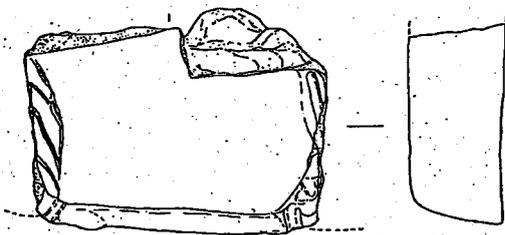
67. 21号住居-2

02
+a.1(%)

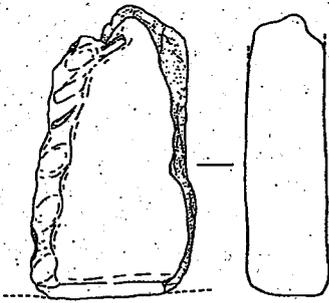


68. 24号住居-2

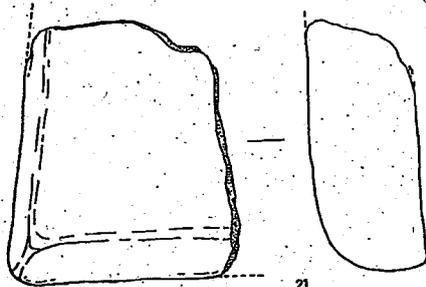
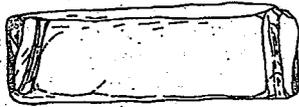
02
+A.a.4(%)



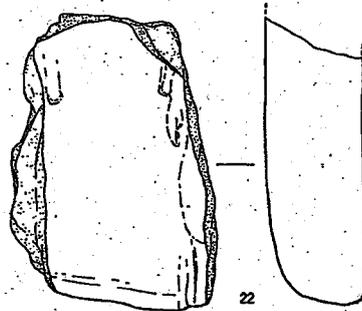
19



20

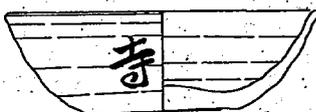


21



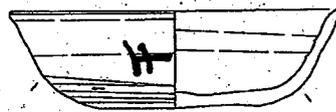
22

64. 18号住居-19 ~ 22



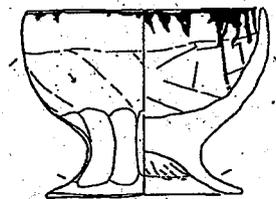
69. 26号住居-3

03
+A.b.4(%)



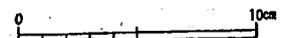
70. 26号住居-4

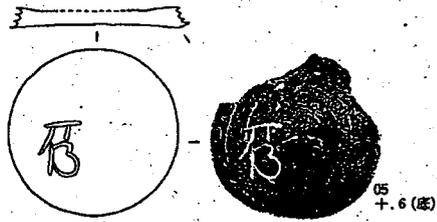
04
+b.1(%)



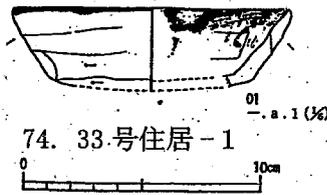
71. 26号住居-5

05
+a.6(%)

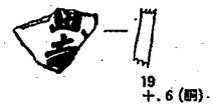




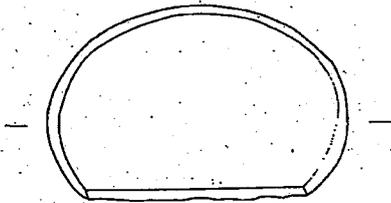
72. 31号住居+5



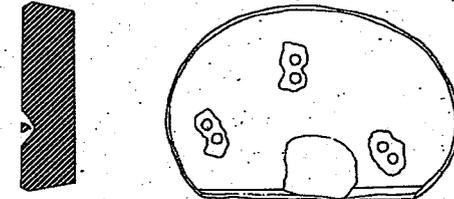
74. 33号住居-1



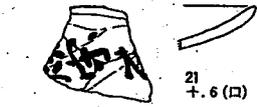
75. 33号住居-19



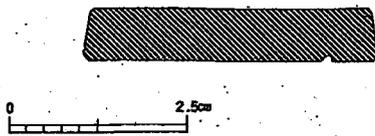
76. 33号住居-20



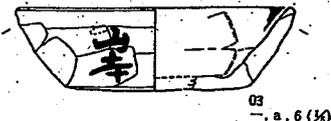
73. 32号住居-20



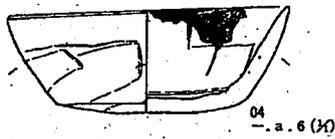
77. 33号住居-21



78. 33号住居-25



79. 34号住居-3



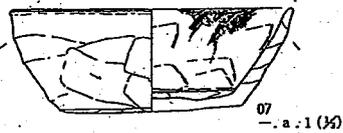
80. 34号住居-4



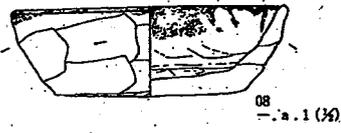
81. 34号住居-5



82. 34号住居-6



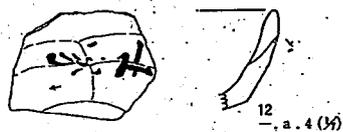
83. 34号住居-7



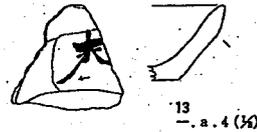
84. 34号住居-8



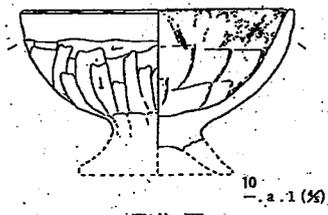
85. 34号住居-9



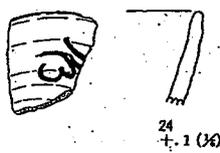
87. 34号住居-12



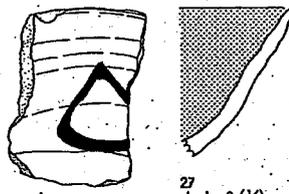
88. 34号住居-13



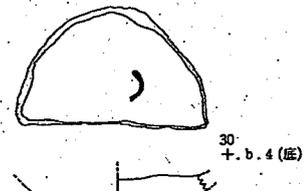
86. 34号住居-10



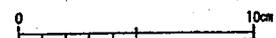
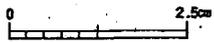
89. 34号住居-24



90. 34号住居-27



91. 34号住居-30

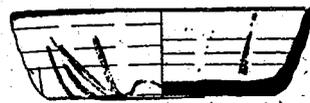




45
+A.a.8 (半)



66
+b.8 (半)



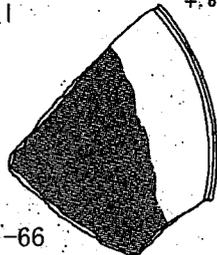
46
+A.b.8 (半)



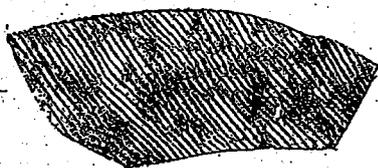
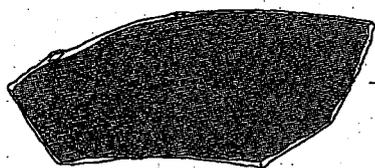
92. 34号住居-45



71
+.8 (底)

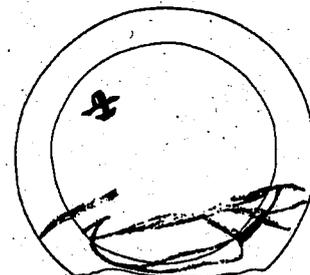


94. 34号住居-66

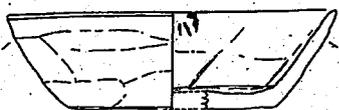


74

95. 34号住居-74

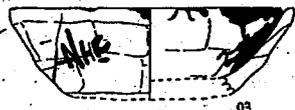


93. 34号住居-46



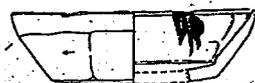
96. 35号住居-2

02
-a.6 (半)



97. 35号住居-3

03
-a.1 (半)



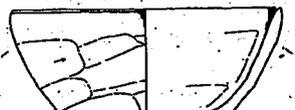
98. 35号住居-4

04
-a.6 (半)



99. 35号住居-7

07
-a.1 (半)



100. 35号住居-8

08
-a.1 (半)



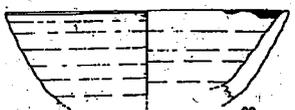
101. 35号住居-13

13
+a.1 (半)



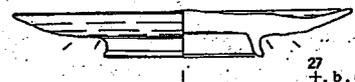
102. 35号住居-16

16
+A.c.4 (半)



103. 35号住居-20

20
+.6 (半)



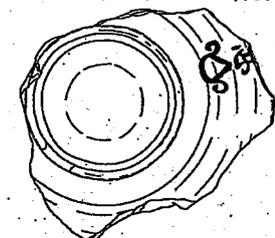
105. 35号住居-27

27
+.6 (半)



104. 35号住居-24

24
+.6 (口)



30

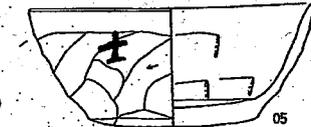
106. 35号住居-39

39
+A.b.8 (半)



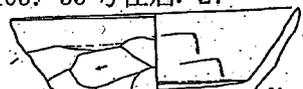
107. 35号住居-45

45
+.8 (口)



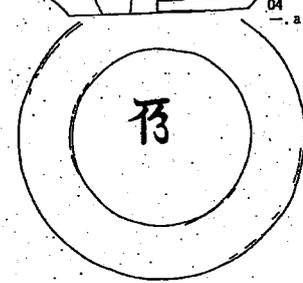
109. 36号住居-5

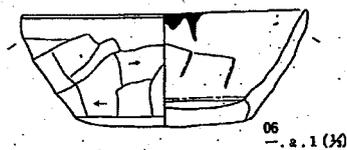
05
-a.6 (半)



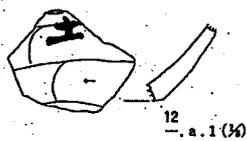
108. 36号住居-4

04
-a.1 (半)





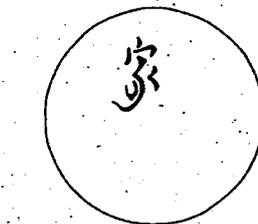
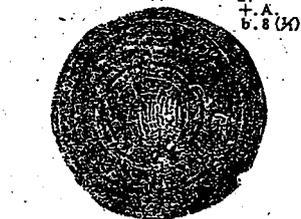
110. 36号住居-6



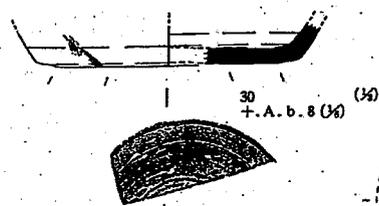
111. 36号住居-12



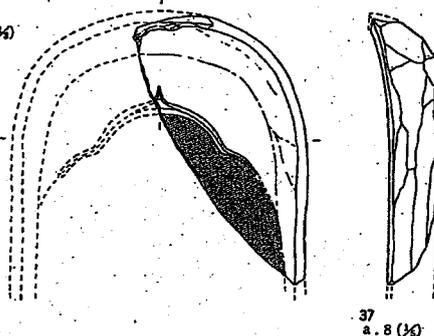
112. 36号住居-13



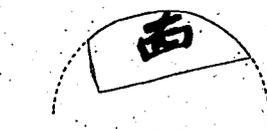
113. 36号住居-24



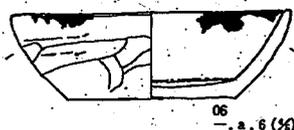
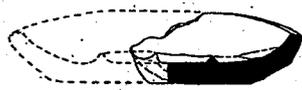
114. 36号住居-30



115. 36号住居-37



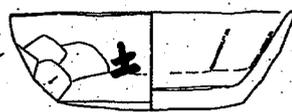
117. 39号住居-5



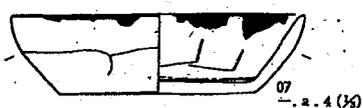
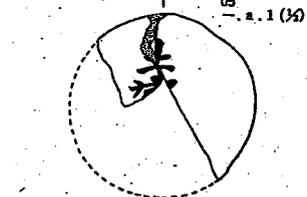
118. 39号住居-6



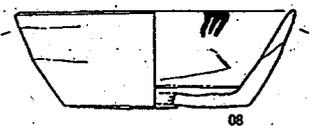
116. 37号住居-1



121. 39号住居-12



119. 39号住居-7



120. 39号住居-8



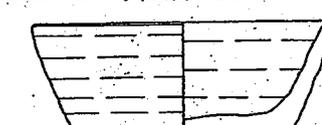
122. 39号住居-21



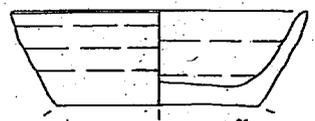
123. 39号住居-22



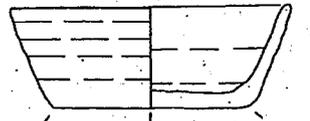
124. 39号住居-26



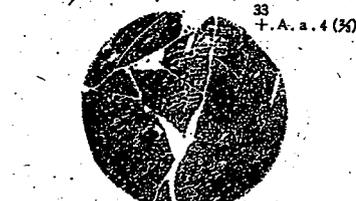
125. 39号住居-31



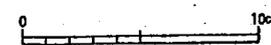
125. 39号住居-31



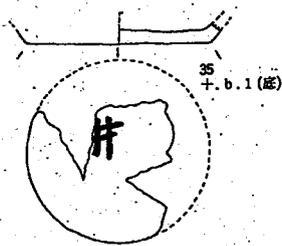
127. 39号住居-34



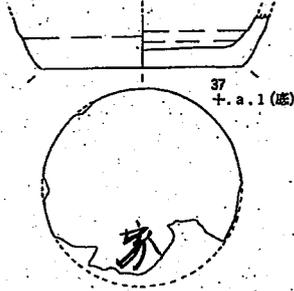
126. 39号住居-33



永吉台遺跡群出土文字資料及び宗教関連資料 遠寺原地区⑤



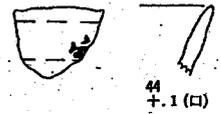
128. 39号住居-35



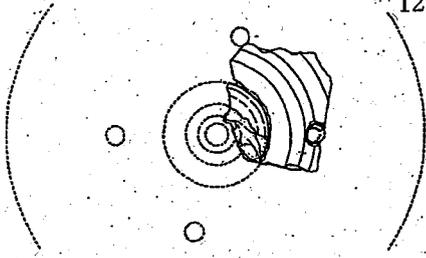
129. 39号住居-37



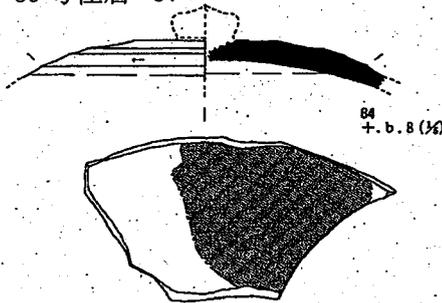
130. 39号住居-38



131. 39号住居-44



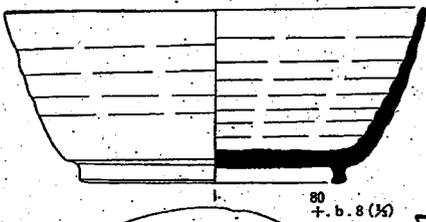
132. 39号住居-49



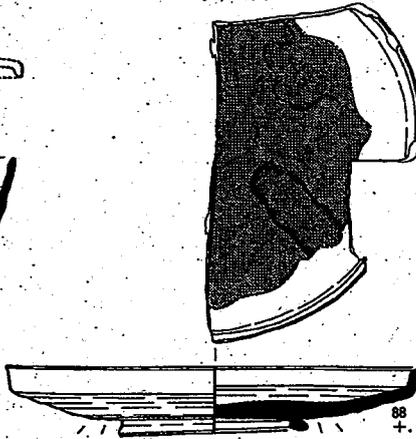
135. 39号住居-84



133. 39号住居-63



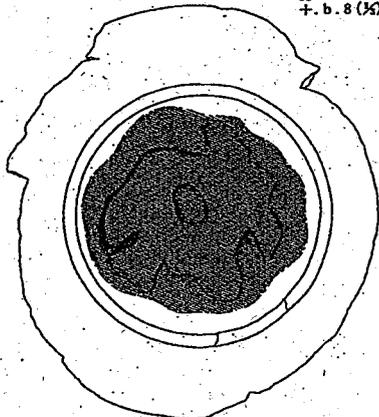
134. 39号住居-80



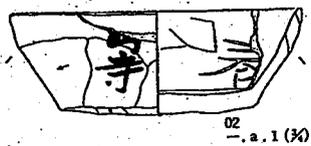
136. 39号住居-88



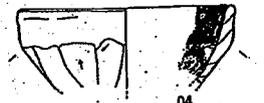
137. 40号住居-4



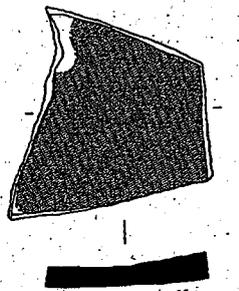
138. 41号住居-7



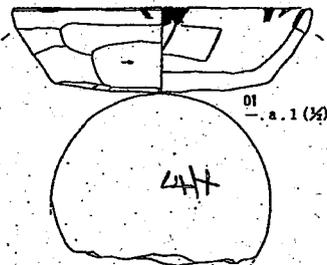
139. 42号住居-2



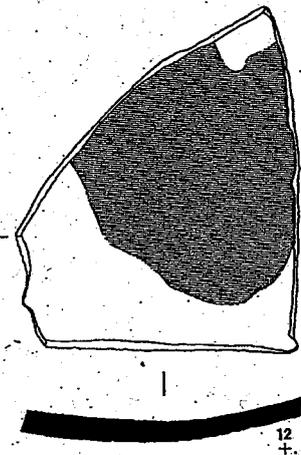
140. 42号住居-4



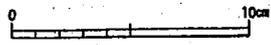
141. 42号住居-11



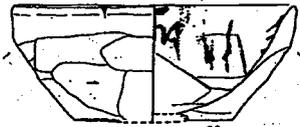
143. 43号住居-1



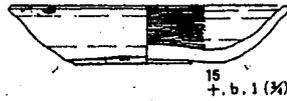
142. 42号住居-12



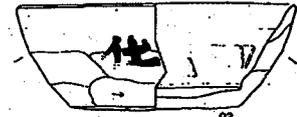
永吉台遺跡群出土文字資料及び宗教関連資料 遠寺原地区⑥



144. 43号住居-2
02
+ a.2 (3/4)



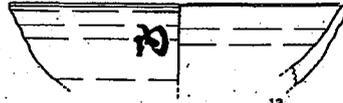
145. 43号住居-15
15
+ b.1 (3/4)



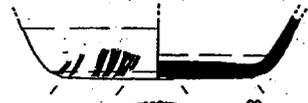
146. 44号住居-3
03
+ a.6 (3/4)



147. 50号住居-3
03
+ b.1 (3/4)



148. 50号住居-13
13
+ 4 (3/4)



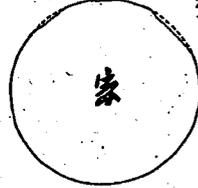
151. 15号建物-22
22
+ A. b. 8 (8)



149. 15号建物-2
02
+ a.2 (3/4)



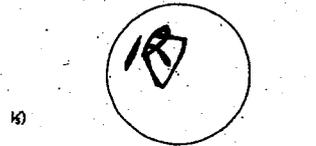
150. 15号建物-3
03
+ a.1 (3/4)



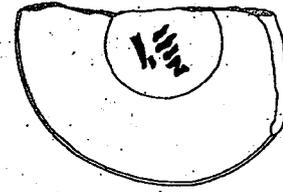
151. 15号建物-22



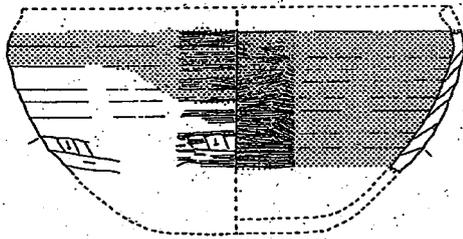
152. 1号土壙-1
01
+ b.1 (3/4)



153. 1号土壙-4
04
+ a.1 (3/4)



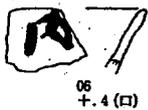
154. 3号土壙-1
01
+ A. b. 6 (3/4)



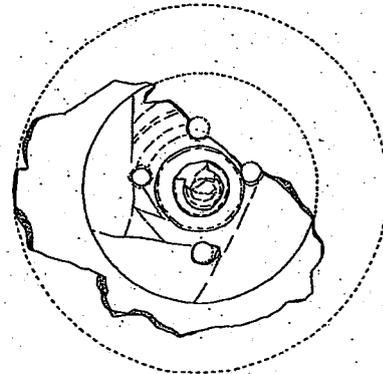
155. 7号土壙-4
04
+ a.1 (3/4)



157. グリッド出土-4
04
+ 1 (口)



158. グリッド出土-6
06
+ 4 (口)



156. グリッド出土-1
01
+ a.6 (3/4)

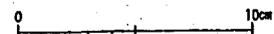
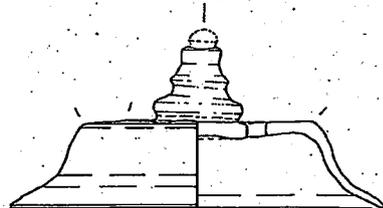


表1 永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料一覧

地区	No.	出土遺構	遺物番号	時期(遺構)	出土位置	種別	器種	文字	記号	遺存状況	遺存率等	備考	
西寺原	1	6号住居	62	10世紀第3四半期	床面	石製品	丸靴				完形	帯飾り具、止め穴3箇所	
	2	12号住居	1		竈内	土師器	坏(灯明皿)				完形	体部内面油煙付着	
	3	14号住居	1		竈内	土師器	坏(墨書土器)	「長」			完形	体部に墨書	
	4	17号住居	4		覆土中	土師器	坏(ヘラ書)	「土」			4/5	体部に墨書	
	5	20号住居	12		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万」			1/3	体部に墨書	
	6	26号住居	1		ピット内	土師器	坏(墨書土器)	「主」			1/3	体部に墨書	
	7	30号住居	35	10世紀第3四半期	覆土中	土師器	碗(ヘラ書)	「ハ」			1/4	底部にヘラ書	
	8	32号住居	12		覆土中	石製品	温石?				不明	方形 温石の可能性あり	
	9	41号住居	13		覆土中	須恵器	壺(ヘラ書)	「加」		底部	不明	底部外面にヘラ書	
	10	45号住居	1		床面	土師器	坏(ヘラ書)	「日」?			3/4	底部外面にヘラ書	
	11	46号住居	44	10世紀第2四半期	竈内	土製品	紡錘車(ヘラ書)	「春夏(秋)冬」			完形	紡錘車表面にヘラ書	
	12	52号住居	11	10世紀第2四半期	ピット内	灰釉陶器	平瓶(水滴)				4/5	井ヶ谷78窯式並行期	
	13	61号住居	29		床面	青銅製品	巡方				完形	帯飾り具、裏面に鉄3箇所	
	14	68号住居	1		床面	土師器	坏(灯明皿)				1/4	口縁部体部内外面油煙付着	
	15	68号住居	17		床面	土師器	碗(灯明皿)				1/3	体部内外面油煙付着	
	16	68号住居	19		床面	土師器	碗(灯明皿)				1/4	口縁部体部内外面油煙付着	
	17	68号住居	22		覆土中	土師器	碗(灯明皿)				3/4	口縁部体部内外面油煙付着	
	18	72号住居	8		床面	土師器	片口鉢(墨書土器)	「酒貳升半淨稲五千」			2/3	体部に墨書	
	19	79号住居	11		覆土中	土師器	坏(墨書土器)		「△」		破片		
	20	83号住居	4		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	体部外面に「主」			1/3	体部内面にも墨書有、判読不能	
	21	87号住居	32		覆土中	石製品	巡方				完形	凝灰岩 方形 裏面止穴4箇所	
	22	91号住居	131	10世紀第2四半期	覆土中	土製品	硯			脚部片	破片		
	23	92号住居	39	10世紀第2四半期	覆土中	土製品	土馬				破片	頭部	
	24	93号住居	5	9世紀第3四半期~9世紀第4四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「主」			4/5	体部に墨書	
	25	93号住居	20		覆土中	土師器	坏(朱書土器)	「主」			1/10	体部に朱書	
	26	94号住居	16		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「人」			1/10	体部に墨書	
	27	98号住居	2	9世紀第3四半期~9世紀第4四半期	床面	土師器	坏(墨書土器)	「主」			2/3	体部に墨書	
	28	98号住居	3		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「主」			1/3	体部に墨書	
	29	98号住居	7		床面	土師器	坏(墨書土器)	「内」?			4/5	体部に墨書	
	30	101号住居	8		竈内	土師器	皿(墨書土器)	「王」(主か?)			4/5	底部内面に墨書	
	31	101号住居	10		覆土中	土師器	皿(墨書土器)	「主」		底部	破片	底部内面に墨書	
	32	106号住居	13	10世紀第2四半期	覆土中	陶製(土製品)	陶製印			頂部欠損			
	33	109号住居	2		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「西寺」			1/2	体部に墨書	
	34	109号住居	7		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	篆書体「天」		底部	破片	底部内面に墨書	
	35	110号住居	9		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「佛」			2/3	底部内面に墨書	
	36	110号住居	10		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「佛」			2/3	底部内面に墨書	
	37	116号住居	1		覆土中	土師器	坏(ヘラ記号・灯明皿)		「井」		完形	底部内面にヘラ記号	
	38	116号住居	2		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部内外面体部内面油煙付着	
	39	116号住居	3		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部内外面油煙付着	
	40	116号住居	10		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「僧」			4/5	底部内面に墨書	
	41	118号住居	24		覆土中	土師器	碗(墨書土器)	「得」			完形	体部に墨書	
	42	121号住居	38		覆土中	土製品	硯			脚部片	破片		
	43	122号住居	11		床面	土師器	壺(ヘラ書)	「野」			4/5	体部にヘラ書「野」3箇所	
	44	124号住居	12	10世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(ヘラ書)	「上」		底部	破片		
	45	2号建物	1		P6	土師器	皿(墨書土器)	「千」			3/4	底部外面に墨書、「千」を○で囲む	
	46	3号建物	3		P6	土師器	坏(墨書土器)	「仁」		底部のみ	破片	底部内面に墨書	
	47	16号土器焼成遺構	6		覆土中	土製品	土馬			頭部から頸部	破片		
	48	53号土器焼成遺構	21		覆土中	土師器	壺(ヘラ書)	「有」	眉毛と目?	胴部	破片	胴部にヘラ書	
	遠寺原	49	2号住居	27	9世紀第2四半期~9世紀第3四半期	覆土中	灰釉陶器	薬壺			口縁部、胴部一部欠損	2/3	折戸10号窯式並行期
		50	3号住居	5	9世紀第2四半期~9世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)		「○」	底部	不明	底部内面に墨書
		51	3号住居	9		覆土中	瓦器	瓦鉢			口縁部~胴部の一部	1/5	ロクロ成形
		52	7号住居	6	9世紀第2四半期~9世紀第3四半期	床面	瓦器	瓦鉢				3/4	非ロクロ成形
		53	7号住居	7		床面	瓦器	瓦鉢				完形	ロクロ成形、黒色処理
		54	8号住居	11	9世紀第2四半期~9世紀第3四半期	ピット内	土師器	坏(墨書土器)	「内」			完形	体部外面と底部内面に墨書「内」
		55	8号住居	14		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「田」		口縁部~底部の一部	1/5	底部内面に墨書
		56	8号住居	15		床下	土師器	坏(墨書土器)	「酒井」		口縁部の一部	1/10	体部外面に墨書
		57	11号住居	1	9世紀第1四半期~9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口唇部体部内面油煙付着
		58	11号住居	29		床面	土師器	坏(墨書土器)	「田」?		口縁部一部欠損	ほぼ完形	体部外面に墨書
		59	12号住居	6	8世紀第4四半期~9世紀2四半期?	—	土師器	坏(墨書土器)	「主」		底部の一部	破片	底部内面に墨書
		60	16号住居	14	8世紀第3四半期	覆土中	須恵器	蓋(転用硯)			つまみ部、口縁部の一部欠損	4/5	つまみの貼り付け(欠損)、転用硯
		61	18号住居	2	9世紀第1四半期~9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(灯明皿)			口縁部~体部の一部	1/6	口縁部油煙付着
		62	18号住居	3		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土寺」		口縁部一部欠損	4/5	体部外面に墨書
		63	18号住居	17-18		床面	土製品	瓦塔			瓦塔屋根部	破片	
		64	18号住居	19~22		床面	土製品	レンガ状土製品				破片	レンガ状土製品

地区	No.	出土遺構	遺物番号	時期(遺構)	出土位置	種別	器種	文字	記号	遺存状況	遺存率等	備考
	65	20号住居	1	9世紀第3四半期~9世紀第4四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「山」			2/3	体部外面に墨書
	66	20号住居	2		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「信」			ほぼ完形	体部外面に墨書
	67	21号住居	2	9世紀第4四半期~10世紀第1四半期	ピット内	土師器	坏(墨書土器)	「倭」			4/5	体部外面に墨書
	68	24号住居	2	10世紀第2四半期以降	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「口得」			完形	体部外面に墨書
	69	26号住居	3	8世紀第4四半期~9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「寺」		口縁部の一部欠損	ほぼ完形	体部外面に墨書
	70	26号住居	4		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			完形	体部外面に墨書
	71	26号住居	5		覆土中	土師器	台付坏(灯明皿)				完形	口縁部油煙付着
	72	31号住居	5	8世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(ヘラ書)	「万得」		底部のみ	碎片	底部外面にヘラ書
	73	32号住居	20	10世紀第2四半期以降	竈内	石製品	丸鞠				完形	帯飾り具、止め穴3(6)箇所
	74	33号住居	1	9世紀第1四半期~9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(灯明皿)			口縁部~体部	1/6	口縁部内外面 体部外面油煙付着
	75	33号住居	19		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「田寺」?		体部	碎片	体部外面に墨書
	76	33号住居	20		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井●」		口縁部	碎片	口縁部外面に墨書
	77	33号住居	21		壁溝内	土師器	皿(墨書土器)	「●宋●」		口縁部	碎片	口縁部外面に墨書
	78	33号住居	25		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「土(土?)寺」		口縁部~体部	1/8	体部外面に墨書
	79	34号住居	3	8世紀第4四半期~9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「山寺」			1/5	体部外面に墨書
	80	34号住居	4		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部油煙付着
	81	34号住居	5		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部油煙付着
	82	34号住居	6		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口縁部油煙付着
	83	34号住居	7		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部油煙付着
	84	34号住居	8		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/2	口縁部油煙付着
	85	34号住居	9		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/5	口縁部油煙付着
	86	34号住居	10		床面	土師器	台付坏(灯明皿)				1/7	口縁部油煙付着
	87	34号住居	12		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			1/7	体部外面に墨書
	88	34号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「家」			1/8	体部外面に墨書
	89	34号住居	24		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万得」			1/6	体部外面に墨書
	90	34号住居	27		覆土中	土師器	碗(墨書土器)		「△」		1/6	体部外面に墨書
	91	34号住居	30		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「ノ」?			碎片	底部内面に墨書
	92	34号住居	45		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「土●」			1/3	底部内面に墨書
	93	34号住居	46		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「土」			碎片	体部外面に墨書
	94	34号住居	66		床面	須恵器	蓋(転用硯)				1/5	転用硯
	95	34号住居	74		床面	須恵器	蓋(転用硯)				碎片	転用硯
	96	35号住居	2	8世紀第4四半期~9世紀2四半期?	覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/5	口縁部油煙付着
	97	35号住居	3		覆土中	土師器	坏(墨書土器・灯明皿)	「●寺●は山か？」			1/7	体部外面に墨書 口縁部油煙付着
	98	35号住居	4		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/6	口縁部油煙付着
	99	35号住居	7		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/6	口縁部油煙付着
	100	35号住居	8		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口縁部油煙付着
	101	35号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「大」			碎片	体部外面に墨書
	102	35号住居	16		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井、土」			碎片	体部外面に墨書
	103	35号住居	20		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/7	口縁部油煙付着
	104	35号住居	24		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「僧」			碎片	体部外面に墨書
	105	35号住居	27		覆土中	土師器	皿(墨書土器)	〇3つ			1/4	体部外面に墨書
	106	35号住居	39		覆土中	須恵器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部体部内外面油煙付着
	107	35号住居	45		床面	須恵器	坏(墨書土器)	「家」?			碎片	体部外面に墨書
	108	36号住居	4	8世紀第4四半期~9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万得」			完形	底部外面に墨書
	109	36号住居	5		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/3	体部外面に墨書
	110	36号住居	6		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口唇部体部内面油煙付着
	111	36号住居	12		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/8	体部外面に墨書
	112	36号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			碎片	底部に墨書
	113	36号住居	24		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「家」		口縁部一部欠損	ほぼ完形	底部外面に墨書
	114	36号住居	30		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「西」			不明	底部外面に墨書
	115	36号住居	37		覆土中	土製品	硯				1/5	風字硯
	116	37号住居	1		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万富」?			2/3	体部外面に墨書
	117	39号住居	5	8世紀第4四半期~9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器・灯明皿)	「土●」●は家か?			1/3	体部外面に墨書 口縁部体部内外面油煙付着
	118	39号住居	6		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口縁部体部内外面油煙付着
	119	39号住居	7		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部体部内外面油煙付着
	120	39号住居	8		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部体部内外面油煙付着
	121	39号住居	12		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/3	体部外面に墨書
	122	39号住居	21		覆土中	土師器	皿(墨書土器)	「万得」		口縁部一部欠損	ほぼ完形	底部外面に墨書
	123	39号住居	22		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部体部内外面油煙付着
	124	39号住居	26		覆土中	土師器	台付坏(灯明皿)				4/5	内面油煙付着
	125	39号住居	31		竈内	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			2/3	底部外面に墨書
	126	39号住居	33		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			2/3	底部外面に墨書
	127	39号住居	34		竈内	土師器	坏(墨書土器)	「丁」			1/3	底部外面に墨書
	128	39号住居	35		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井」			不明	底部外面に墨書

地区	No.	出土遺構	遺物番号	時期(遺構)	出土位置	種別	器種	文字	記号	遺存状況	遺存率等	備考
	129	39号住居	37		竈内	土師器	坏(墨書土器)	「家」			不明	底部外面に墨書
	130	39号住居	38		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/3	体部外面に墨書
	131	39号住居	44		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	判読不能「家」?			碎片	体部外面に墨書
	132	39号住居	49		覆土中	土師器	香炉蓋				1/10	孔1カ所
	133	39号住居	63		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「家土」			1/2	体部外面に墨書
	134	39号住居	80		覆土中	須恵器	碗(転用硯)				1/3	転用硯
	135	39号住居	84		覆土中	須恵器	蓋(転用硯)				1/5	転用硯
	136	39号住居	88		覆土中	須恵器	皿(転用硯)				1/3	転用硯
	137	40号住居	4	9世紀第3四半期~9世紀第4四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井」			2/3	底部外面に墨書
	138	41号住居	7	9世紀第1四半期~9世紀第2四半期	覆土中	土師器	鉢				1/8	鉄鉢形、内外面黒色処理
	139	42号住居	2	8世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「●寺」●は西か?			3/4	体部外面に墨書
	140	42号住居	4		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/10	口縁~体部内面油煙付着
	141	42号住居	11		覆土中	須恵器	蓋(転用硯)				碎片	転用硯
	142	42号住居	12		覆土中	須恵器	甕(転用硯)				碎片	転用硯
	143	43号住居	1	9世紀第1四半期~9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(へら書・灯明皿)	「寺」			1/2	底部外面にへら書 口縁部体部内外面油煙付着
	144	43号住居	2		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/7	口縁部体部内外面油煙付着
	145	43号住居	15		覆土中	土師器	皿(灯明皿)				3/4	口縁部外面油煙付着
	146	44号住居	3	8世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「仕」			1/3	体部外面に墨書
	147	50号住居	3	9世紀第2四半期~9世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	篆書体「天」			4/5	体部外面に墨書
	148	50号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「内」			1/10	体部外面に墨書
	149	15号建物	2		P4	土師器	坏(灯明皿)				1/8	口縁部内面油煙付着
	150	15号建物	3		P1	土師器	坏(灯明皿)				1/10	口縁部内面油煙付着
	151	15号建物	22		P4	須恵器	坏(墨書土器)	「家」			不明	底部外面に墨書
	152	1号土壌	1		—	土師器	坏(墨書土器)	「内」			完形	体部外面に墨書
	153	1号土壌	4		—	土師器	坏(墨書土器)	「内」			ほぼ完形	底部外面に墨書
	154	3号土壌	1		—	土師器	坏(墨書土器)	「信」			1/2	底部内面に墨書
	155	7号土壌	4		—	土師器	鉢				1/10	黒色処理
	156	グリッド出土	1		—	土師器	香炉蓋			つまみ部遺存	3/5	孔4カ所
	157	グリッド出土	4		—	土師器	碗(墨書土器)		「〇〇」		不明	体部外面に墨書
	158	グリッド出土	6		—	土師器	器種不明(墨書土器)	「内」			碎片	口縁部に墨書